



PRIME  
TOKYO

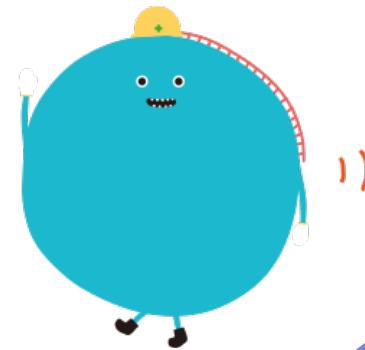
コード:6369



トヨ・カネツ 株式会社



会社説明会



2025年12月13日

## 1. 会社概要

### 会社概要と目指す未来

## 2. これまでの姿

### 事業実績等

## 3. これから姿

### 事業戦略と展望

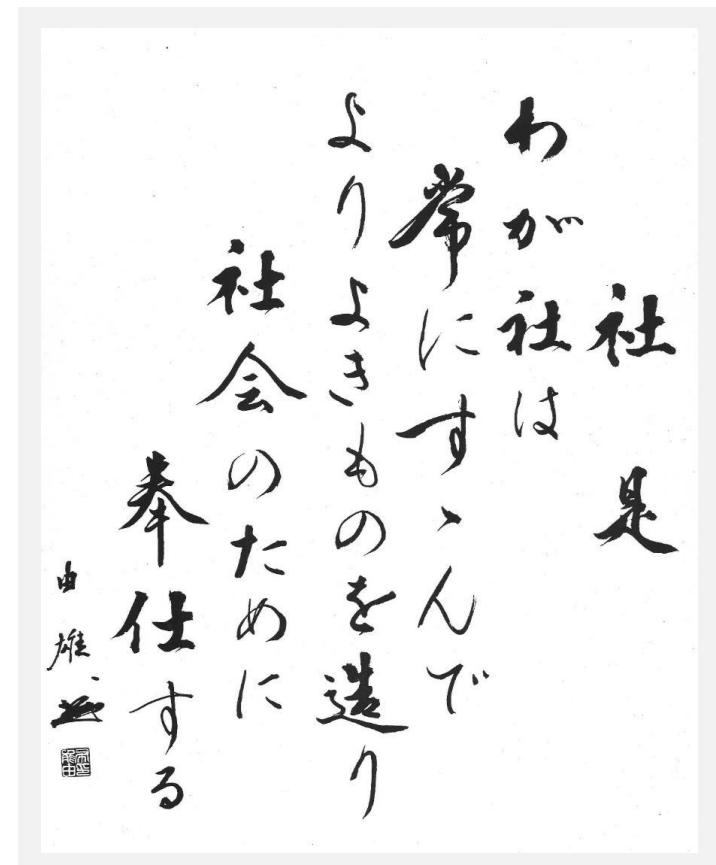
代表取締役社長 大和田 能史  
(おおわだ たかし)



# 1. 会社概要

# 創立85年目 東京証券取引所上場65年目

- 創立 1941年(昭和16年)5月
- 資本金 18,580百万円
- 売上高 60,474百万円(連結)
- 従業員数 608名(単体)  
1,218名(連結)
- 株式市場 東証プライム
- 決算期 3月(連結)



## 物流システム

### 物流ソリューション



生協・空港・ネット通販  
メーカーなどの  
物流システム企画  
設計・製作・施工  
販売・メンテナンス

## タンク

### プラント



国内製油所などの  
タンクメンテナンス  
国内外新設タンク製造

次世代エネルギー  
開発センター

大型液化水素タンク等の研究開発

## 新規事業

### みらい創生

#### 環境 防災

 **環境リサーチ株式会社**  
KANKYO RESEARCH

 **環境計測株式会社**  
Eco Analysis Corporation

 **坂田電機株式会社**  
SAKATA DENKI Co., Ltd.

#### 産業 機械

 **トヨ・コーケン株式会社**  
TKK MACHINERY & ENGINEERING CO., LTD.

 **マックスフル工業株式会社**  
MAXPULL

#### 建築

 **トヨ・カネツビルテック株式会社**

アスベスト検査

環境・防災計測機器

保守・製造

産業機械・建築

# 社会課題の解決で未来を支え続ける

**社是:** わが社は 常にすすんで よりよきものを造り  
社会のために奉仕する

**経営ビジョン:** 革新的な技術と実行力で、社会課題を解決する  
「ソリューションイノベーター」

**スローガン:** **ACTION FOR THE FUTURE**

期待を超える実行力で、未来を支える力になる

## ACTION FOR NEXT LOGISTICS

物流ソリューション

未来の物流システムを  
支えるチカラになる

## ACTION FOR INFRASTRUCTURE

プラント

社会インフラを  
支えるチカラになる

## ACTION FOR NEXT ENERGY

次世代エネルギー開発

エネルギーの未来を  
支えるチカラになる

## ACTION FOR SUSTAINABILITY

みらい創生

サステナブルな社会を  
支えるチカラになる

## 2. これまでの姿

## 世界中で物流システムのソリューションやタンクを製造

ボイラー製造から始まり1955年に  
2事業に経営資源を集約



**「生協」**  
物流センターシステム  
シェア70%以上

**「国内空港」**  
自動手荷物預けシステム  
シェア80%以上

**「ネット通販」**  
多品種 大量仕分け  
リードタイムの短縮

**「製造業」**  
工場内の部品収納・配送  
省人化の実現

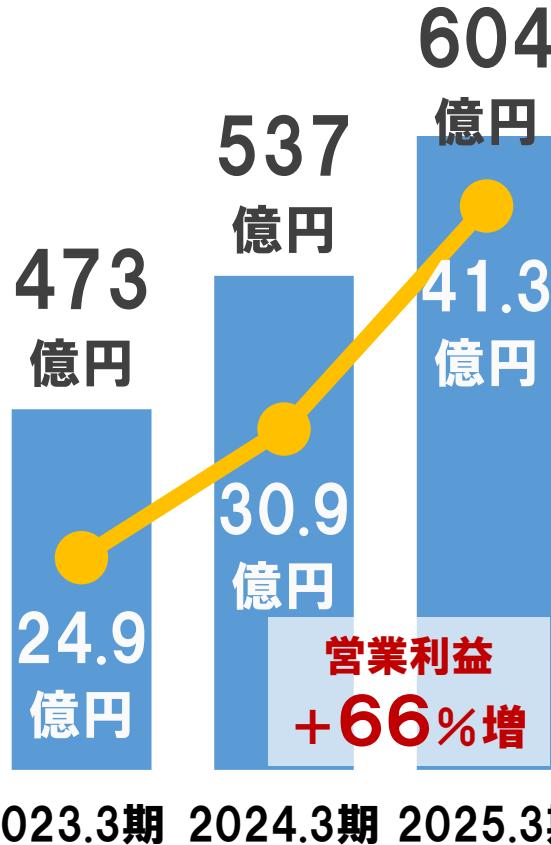
「世界第2位」  
国内外納入実績  
5,700基以上

「極低温・大型タンク」  
マイナス162℃  
23万キロ<sup>リットル</sup>

「タンク再生」  
原油・ブタン・プロパン  
平底型・球形型各種

「次世代エネルギー  
研究・開発」  
大型液化水素タンク  
(マイナス253℃)

## 業績を アップトレンド化

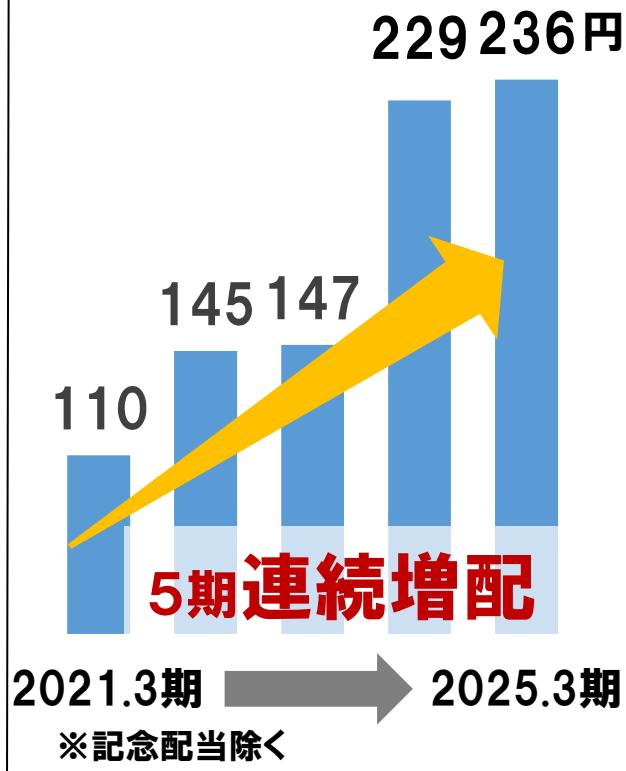


## 積極的な株主還元

計画 → 実績



## 前々中計期間から 連続増配を継続

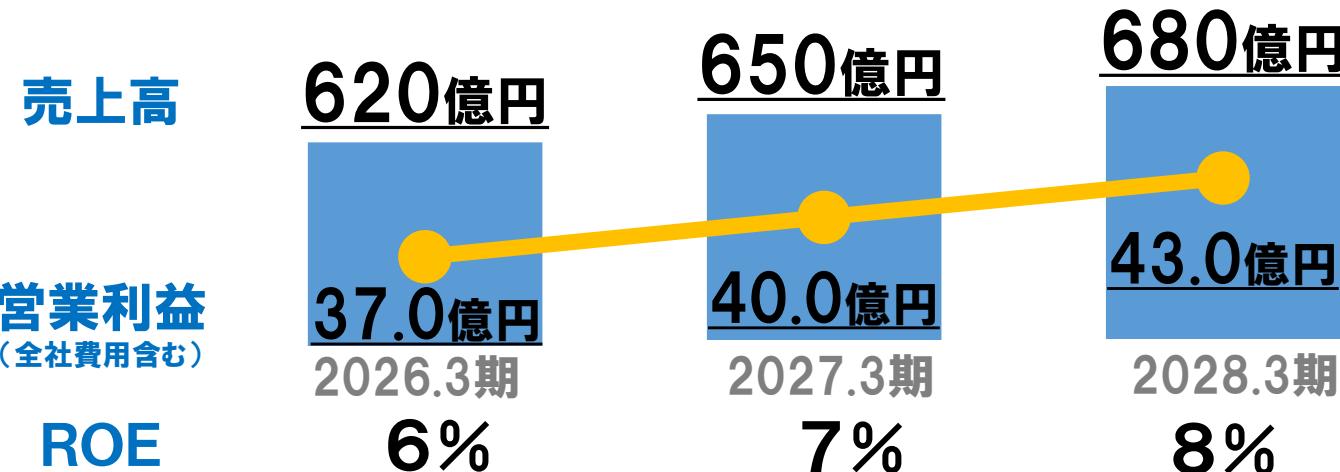


株価の推移

2,452円(2022.3月末) → 3,660円(2025.3月末)

### 3. これから姿

## 次の3年も、引き続き「増収」を計画



※M&A効果は  
業績予測から除外  
(予想)

## 事業収入を積極的に株主還元と成長投資に配分

事業活動による  
収入  
約110億円

(参考)  
減価償却費  
約30億円

必要に応じた  
資金調達

配当等  
50億円以上

成長投資や  
研究開発等  
110億円規模

定常設備投資  
ほか

株主還元 **DOE(株主資本配当率) 4.0%以上**

今期配当予想200円 ※連結配当性向61.9%・株式分割前  
普通株式を1:2で分割 ※基準日12/31 効力発生日1/1

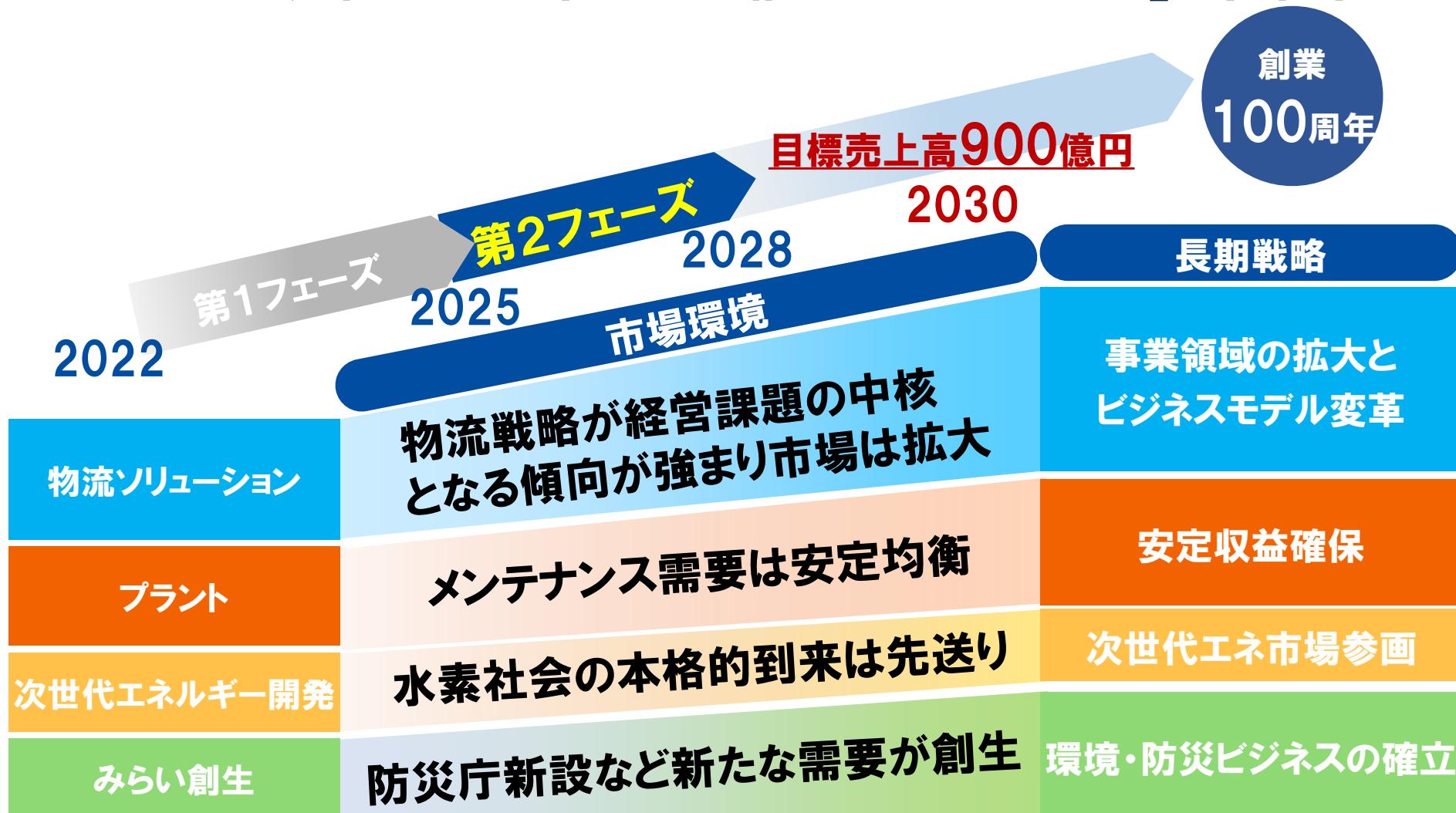
ただし、大規模な資金需要が発生した場合にはこの限りではありません。

**資本政策**

**自己資本比率50%程度、DEレシオ0.8倍未満**

適用期間:本中計期間(2026.3期~2028.3期)

## 2030年を見据えた前中計を引継ぎ「第2フェーズ」に位置付け

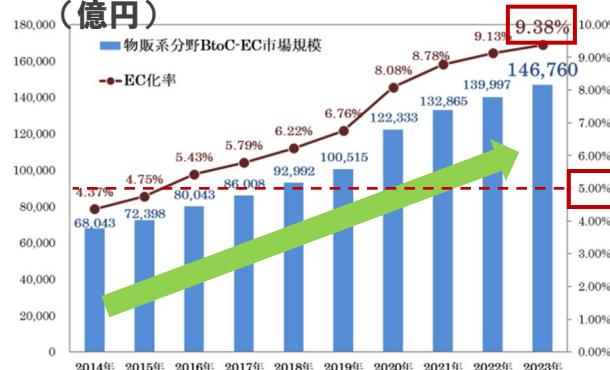


新中計基本方針 未来に向けた成長基盤の確立

## 物流ソリューション

### 物販系通販は物量もEC化率も伸長継続

#### 物販系EC市場・EC化率推移(億円)



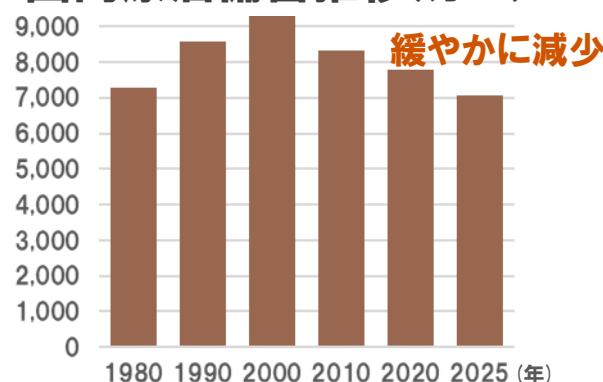
#### EC化率推移予測



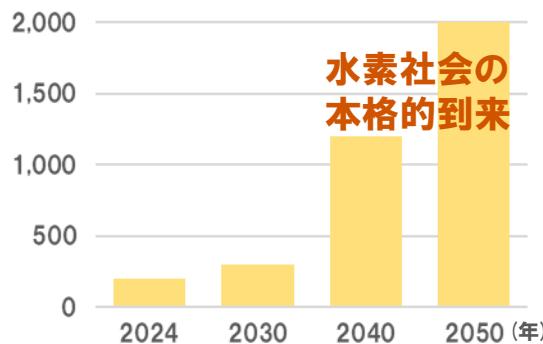
## プラント

### 原油備蓄は依然豊富 今後、水素エネルギーが台頭

#### 国内原油備蓄推移(万KL)



#### 水素エネルギー計画(万トン)



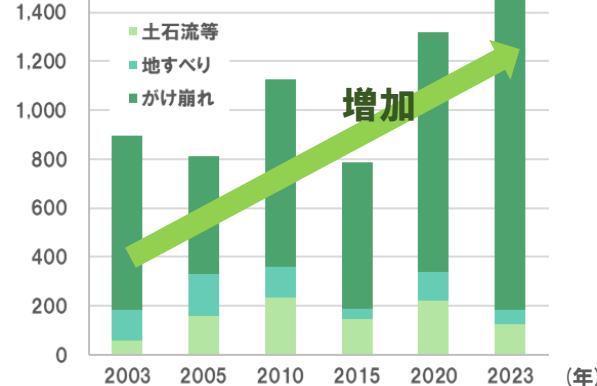
## みらい創生

### アスベスト検査は増加 土砂災害も増加傾向

#### アスベスト民間建築物 年度別 解体棟数推計



#### 土砂災害発生件数



上「電子商取引に関する市場調査」2024年経済産業省  
下「家計調査」「わが国におけるデータ駆動型社会にかかる基盤整備」経済産業省より、みずほ銀行産業調査部作成  
「みずほ産業調査 Vol. 70」

上「資源エネルギー庁 石油備蓄等について」2023年  
下「水素を取り巻く国内外情勢と水素政策の現状について」2024年  
ともに資源エネルギー庁

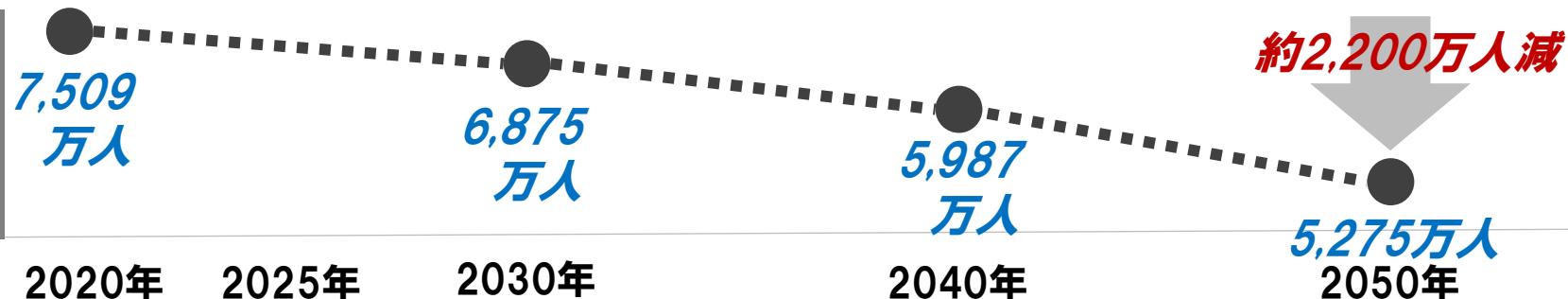
上「社会資本整備審議会建築分科会アスペクト対策部会」2012年  
下「土砂災害発生状況」国土交通省  
Copyright © TOYO KANETSU K.K. All Rights Reserved. 14

社会  
課題

労働人口減少

無人化ソリューションの実現

生産年齢  
人口



事業の需要

既存センターリニューアル

自動化・省人化 需要の拡大

新設

メンテナンス・サービス

多品種・大量仕分  
自動搬送

WMS(倉庫管理システム)  
業務領域の拡大

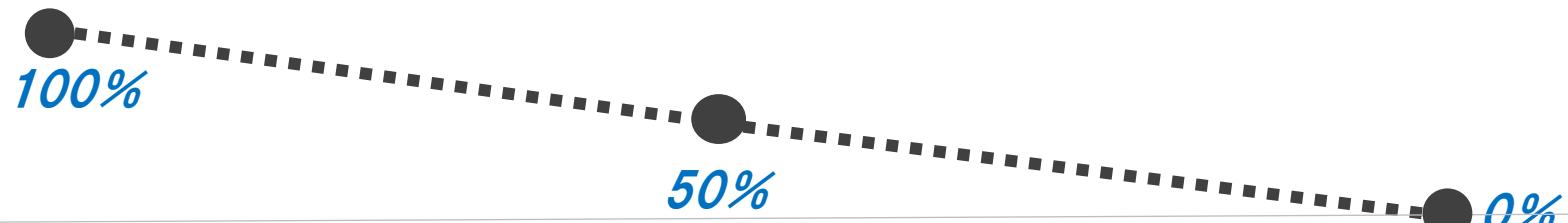
物流センター完全無人化  
サプライチェーンデータ連携

社会  
課題

カーボン  
ニュートラル

クリーンエネルギー社会  
の実現

脱炭素



エネルギーの出現



タンクメンテナンス

既存タンクのメンテナンス

アンモニア・MCH  
CO<sub>2</sub>(CCS/CCUS)

開発

受注

建設

大型液化水素

基礎技術

実証実験

建設

社会  
課題

環境リスク  
災害の激甚化

多様でサステナブルな  
生活環境の実現

社会情勢

気候変動による災害の甚大化・常態化  
安心・安全な生活環境への関心

事業成長シナリオ

2017年

2025年

2030年

2050年

「第3の柱」確立

本格  
着手

環境

防災

環境

環境 + 防災・減災領域M&A

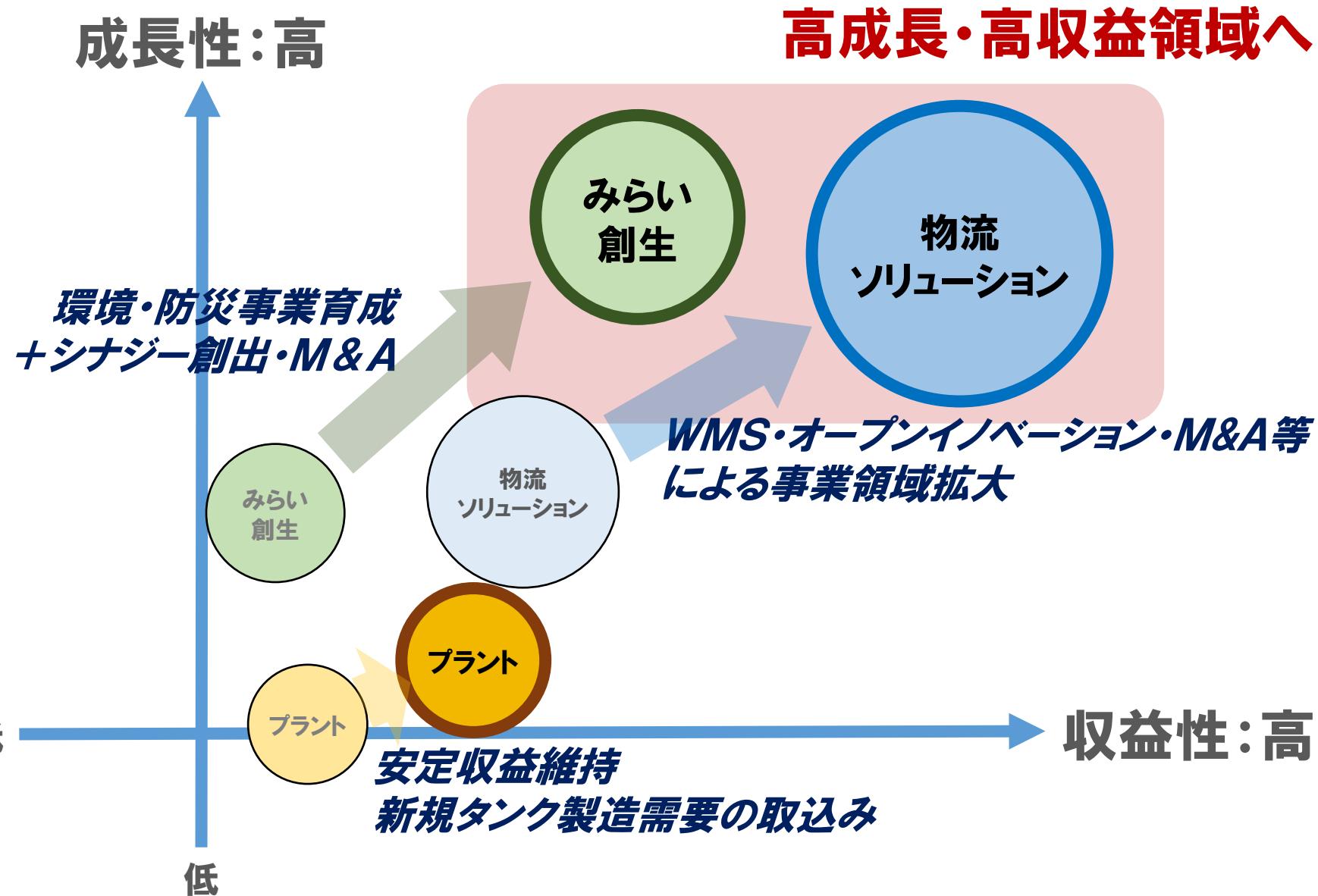
アスベスト検査・環境調査・分析  
(防災・減災/生物多様性/環境保全)

産業機械・建築

事業の形成

シナジー創出  
(M&A)

物流・タンクに並ぶ「第3の柱」へ  
(成長ポテンシャル維持・拡大)



## 売上高

2.1倍(計画)

900  
億円

1.4倍(実績)

604  
億円

436  
億円

2020年度 2024年度 2030年度

## 株価

5,000円超へ

PBR1倍

4,660円  
1.7倍(実績)

2,715円

2020年  
3月末

2025年  
9月末

2030年度  
※株式分割前

## 企業価値の向上を株価へ

### ●事業成長によるファンダメンタルズの向上

- 2030年度に売上高2.1倍へ(2020年度比)
- シナジー効果を前提としたM&Aの追求  
(WMS強化のためのソフトウェア領域・環境防災領域に照準)
- 更なる資本効率の強化(ROE/ROICの向上)

### ●株式市場への働きかけ

#### ➤ ESG投資の呼込み

(FTSE Blossom Japan Sector Relative Index 構成銘柄選定)



FTSE Blossom  
Japan Sector  
Relative Index

#### ➤ 様々なTSR(株価と配当)向上のための取組み

#### ➤ 国内・海外機関および個人投資家との対話拡大 (個人投資家・海外投資家の持ち株数増加)

## 当資料に関するお問い合わせ先

### トヨーカネツ株式会社

経理部 IRグループ

TEL:03-5857-3333 FAX:03-5857-3170

<https://www.toyokanetsu.co.jp/>

コード番号:6369 東証プライム



#### 注意事項

本資料に記載されている計画、予測または見通しなど将来に関する事項は、種々の前提に基づき策定したものであり、将来の業績等を保証するものではなく、今後様々な要因により変動する可能性があります。

